

平成28年度補正予算(第2次)案の概要

防衛省計上額	217億円(461億円)
--------	--------------

※上記()内は、本書きの歳出予算額に新規後年度負担額を加えた総事業費を示す。以下同。

国民生活の安全・安心の確保

厳しさを増す安全保障環境に対応し、また、様々な災害に対処することにより、自衛隊による活動が増加傾向にあることから、警戒監視態勢の強化、迅速な展開・対処能力の向上、弾道ミサイル攻撃への対応等、自衛隊の安定的運用態勢を迅速に強化するために必要な経費を確保

(1) 警戒監視態勢の強化 117億円(321億円)

- P-1、SH-60Kの整備
- F-15J/DJの近代化改修
- 航空機用部品・整備器材、艦船用部品の調達
- 情報収集器材の調達



(2) 迅速な展開・対処能力の向上 74億円(79億円)

- C-2の整備
- CH-47JAの整備、CH-47Jの改修
- 展開時運用基盤の整備



(3) 弾道ミサイル攻撃への対応 26億円(61億円)

- PAC-3 ミサイルの整備
- PAC-3 部隊展開時の警護用器材・個人防護装備等の調達

